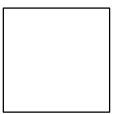


① 次の【文章の一部】は、児童会長の高原さんが運動会開会式の「児童会長のあいさつ」のために書いた作文です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の一部】

今日は、みなさんが待ちに待った運動会です。この日に向けて、みんなで練習に取り組んできました。一年生にとっては初めての運動会、六年生にとっては小学校生活最後の運動会になります。今年の運動会の合言葉「笑顔で楽しく仲間と共に、勝利をつかみとれ」のもと、全校児童で力を合わせてがんばりましょう。

一 【文章の一部】の中は、この文がありますか。数字を口の中に書きましょう。

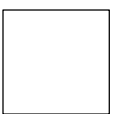


文

二 一で答えたそれぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点（、）も字数に入れません。

※解答は、右の【文章の一部】に直接書きましょう。

三 右の【文章の一部】の中へ、高原さんが一年生と六年生に向けて書いた内容は、この文の書かれていますか。数字を口の中に書きましょう。



文目

① 次の文を、――の部分の主語にして意味が変わらないように書き直しましょう。

― わたしは、中山さんに追いかけられました。

中山さんが、

― 父が、この家を建てた。

この家は、

② 松下さんは、学芸会について文章を書いたあと、読み返して、……部と――部とのつながりが合っていない文があることに気付きました。次の【松下さんの作文の一部】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【松下さんの作文の一部】

①十一月四日は、転校してきて初めての学芸会でした。この日に向けて、学級みんなで練習をくり返してきました。②ぼくは、練習の成果を出し切るために、本番で二つのことを目標にしました。
③一つ目の目標は、せりふを大きな声でゆっくり言いました。きんちようすると、せりふを言うのが速くなったり、声が小さくなったりしてしまうからです。

(問い) ……部と――部と――部とのつながりが合っていない文の番号を、①か②か③か④か⑤の中から

選んで書きまわして。部はそのままでして、文の意味が変わらないようにして、選んだ文を正しく書き直して。部はそのままにして、文の意味が変わらないようにして、選んだ文の番号……

書き直した一文

1 次のひらがなを、ローマ字で書いていねいに書きましよう。

① ねこ → _____

② あさって → _____

③ どんぶり → _____

④ みかん → _____

⑤ きんぎょ → _____

⑥ あさひかわ → _____

2 次のローマ字を、ひらがなで書いていねいに書きましよう。

① tabemono → _____

② sumire → _____

③ hyaku → _____

④ akusyu → _____

⑤ tenpura → _____

⑥ batta → _____

1 次のひらがなを、ローマ字でていねいに書きましよう。

① はっぱ →

② れっしゃ →

③ きゅうしょく →

④ がっこう →

⑤ ほっかいどう →

⑥ きんようび →

2 次のローマ字を、ひらがなでていねいに書きましよう。

① sekken →

② zyagaimo →

③ onêsan →

④ ryokan →

⑤ mikazuki →

⑥ tan'i →

① 国語辞典では、言葉が五十音順に並んでいます。また、形が変わる言葉は、言い切りの形で出ています。次の問いに答えましょう。

一次のAからEまでの言葉を国語辞典で調べます。国語辞典に出てくる順番に並び替えて、 1回記号を書きましょう。

①

②

二次の文の中の——部の言葉について調べます。国語辞典で調べるとき、それぞれどのような言葉にして調べるとよいですか。ひらがなで()の中の文字数になるようについて書きましよう。

①今日は気温が高く、空も晴れわたっている。(ひらがな五文字)

②彼は気があらく、乱暴なところがある。(ひらがな三文字)

① 次のうち、国語辞典じてんで先に出ている言葉はどれですか。 ()に○をつけましょう。

① () いす ② () ゴール ③ () はば
() ミス () () こおる () はは

④ () ぼろぼろ ⑤ () りゆう ⑥ () びよういん
() ぼろぼろ () りゆう () びよういん

② 次の言葉を国語辞典じてんで調べるとき、のばす音はどの字におきかえますか。

(例) マーク ↓ ま **あ** く

① ピーチ ↓ ぴ ち ② ケーキ ↓ け き

③ ーの言葉を、国語辞典じてんに出ている言い切りの形に直し、平仮名ひらがなで書きましよう。

① 駅の色ぬりをしたので、絵の具で手が白くなる。 ()

② 夏休みに行った東京のビルは高かった。 ()

③ おにが来たよ。ブランコまで走ろう。 ()

④ 学校が終わったので、歩いて家まで帰る。 ()

④ 次のうち、国語辞典じてんの特ちょうに当てはまらないものはどれですか。一つ選んで、()に○をつけましよう。

() 言葉を漢字に直すとき、どのように書くのかがわかる。

() 文例がのっており、それを読むと言葉の正しい使い方がわかる。

() 外来語は、一つものっていない。

① 次のような場合、漢字辞典のどのさくいんを使いますか。 から選んで記号で書きましよう。

- ① 漢字の部首を手がかりにする。 () () ()
- ② 漢字の音と訓の読み方がわかる。 () () ()
- ③ 漢字の読み方も部首もわからない。 () () ()

ア	総画さくいん
イ	部首さくいん
ウ	音訓さくいん

② 次の漢字の部首名をしよう。 から一つずつ選んで、 に記号を書きま

- | | | | | | |
|-----|----------------------|-----|----------------------|-----|----------------------|
| ① 安 | <input type="text"/> | ② 放 | <input type="text"/> | ③ 照 | <input type="text"/> |
| ④ 礼 | <input type="text"/> | ⑤ 発 | <input type="text"/> | ⑥ 隊 | <input type="text"/> |

ア	れんが(れっか)	イ	ぼくによう(のぶん)
ウ	おおざと	エ	あなかんむり
カ	こざとへん	キ	はつがしら
		ク	うかんむり
			しめすへん

③ 「話」という漢字を、部首をいって引く手順を1〜3の番号で書きましよう。

() 部首「言」の画数を数える。

() 同じ部首の漢字が画数順に並んでいるので、そこから「話」をさがす。

() 七画の部首の中から「言」を見つけて、「言」がのっているページを開く。

1 次のそれぞれの慣用句の意味について、最も適切なものを、ア～エまでの中から一つ選び、
 □に書きましよう。また、※条件に合わせて短い文を書きましよう。

慣用句1

目を丸くする

- ア 激しく怒る。
- イ 油断なくみはる。
- ウ 驚いて目を大きく見開く。
- エ じっと見つめる。

最も適切な意味……

※条件 「目を丸くした。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「目を丸くした」の主語を
 明らかにした上で、「誰(何)の」の「どのよう」と(様子)「に」「目」を丸くした「の」かが分かる
 ように書いよう。

慣用句2

水に流す

- ア 努力がむだになる。
- イ なかったことである。
- ウ じやまをす。
- エ 話を。

最も適切な意味……

※条件 「水に流した。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「水に流した。」の主語を明
 らかにした上で、「どのよう」と(様子)「を」「水に流した」のかが分かるように書いよう。

- ① 高橋さんは、「夢をもつことの大切さ」というテーマで意見文を書きました。意見文を書く際に自分の意見をより分かりやすく読んだ人に伝えるために以前に読んだ本から文章を引用しました。高橋さんの意見文の一部を読んであとの問いに答えましょう。

【高橋さんの意見文の一部】

わたしには、夢があります。それは、将来、医者のような仕事につきたいという夢です。しかし、友達の中には将来の夢がないという人もいます。その友達の夢がないという理由は、たとえば夢もったとしても、その夢をかなえられないことの方が多いから、夢があっても仕方がないというものです。わたしは、友達その考えを聞いて、ある本にのっていた言葉を思い出しました。その言葉は、将来、夢がかなうかどうかが重要なのではない。今の自分の夢に向かって努力するところが大切なのだ。わたしも、もしかすると医者のような仕事につきたいという夢をかなえることができないかもしれません。しかし、医者のような仕事につくために勉強をがんばっています。この努力が大切だと改めて感じました。(続く)

(問5)

この意見文を読んだ井上さんは次のような感想を高橋さんに伝えました。この感想をもとに高橋さんが意見文を書き直すとしたら、どんなことに気を付けて書き直せばよいでしょうか。

【井上さんの感想】

高橋さんの意見文を読んで、私も高橋さんが以前に読んだ本を読みたくくなりました。でも、どの本を探せばよいか分からないし、どこからどこまでを引用したのかが分かりません。

※高橋さんが、意見文を書き直すために気を付けたらよいところを二口の中に書きましょう。

① 次の文の——線の部分を敬語に直して、下の□□に書きましよう。敬語になっていて直す必要がないものは、□□に丸を書きましよう。

① お客様が、お土産をくれました。

② わたしは、旭川市長から賞状をいただいた。

③ 王様が、朝食を食べる。

② 山下さんは、総合的な学習の時間で高齢者施設を訪問するために、事前に電話で施設の加藤さんに連絡をしました。次の文章は、その電話でのやり取りです。よく読んで、あとの問いに答えましよう。

【電話でのやり取り】

山下さん 「もしもし、加藤様ですか。初めまして、①わたしは花咲小学校六年二組の山下

と申します。」

加藤さん 「はい、花咲小学校の山下さんですね。担任の先生から話は聞いていますよ。」

山下さん 「②明日、予定どおり九時に行きます。③いくつか質問をさせていただきます。」

どうぞよろしく願っています。」

加藤さん 「はい、お待ちしております。」

(問い) 山下さんの……部の言い方の中で、敬語を使った言い方に直した方がよい文の番号を、

①から③までの中から一つ選んで書きましよう。また、敬語を使って直した文を書きましよう。

選んだ文の番号……

書き直した文

① 「緑」を楷書と行書で書くとみまうた。二つの書き方を比べて、行書の特徴を説明した文章を讀んで、

(1) (5) (4) 「あさひかわ」の三文字をまよひかたに選り、間で答へなむ。

緑

楷書

绿

行書

行書は、楷書の三画目の点(1)を省く。また、

楷書の十一画と十二画、十三画と十四画が行書ではそれぞれ

(2) 一つです。そして、多くの部分で楷書より行書の方

が点画に(3) 3 (4) あります。これらの特徴は、行書は日常的

な書き方として、楷書に比べて(4) 書きためのためのつ。

ア 丸み イ 省略 ウ 筆順 エ 連続

オ 鋭さ カ ゆつり キ 速く ク 止め

1

2

3

4

② 楷書を行書で書くと画数が異なる場合があります。楷書で指定された画は行書では何画目になりますか。例にならうして答へなむ。

楷書

行書

和

和

例：

楷書は六画目、行書は()画目

社

社

①

楷書は五画目、行書は()画目

花

花

②

楷書は一画目、行書は()画目

- 1 次の文の1線の単語を自立語か付属語か、活用するか活用しないかによって分類し、記号で表に記入しよう。

ア小さいイ水色ウのイ星形オの花キをタまじりのケつけトたあの新ハ何ですタ。

付属語	自立語	活用する	活用しない

- 2 次の各文の1線部の単語の品詞をよむとわあひかひら選ひ、品詞で答へなせよ。

- ① 大きな青い器がわたしの目を引き付けた。 ()
- ② 大きな器の青がわたしの目を引き付けた。 ()
- ③ 大きな器の青がわたしの目を引き付けた。 ()
- ④ 兄が夢中になってこの歌は音楽を聴いた。 ()
- ⑤ 今年の合唱コンクールは、観衆を驚かしてうたう。 ()
- ⑥ わたしは、旭川が大好きです。 ()
- ⑦ 牛のうしろの窓はぼんぼんです。 ()
- ⑧ はい、わたしは元気です。 ()

ア 名詞 イ 副詞 ウ 連体詞 エ 接続詞 オ 感動詞
 カ 動詞 キ 形容詞 ク 形容動詞 ケ 助詞 コ 助動詞